

2008.4

## FUORI SALONE

MILAN 16 – 20 APRIL 2008

### JAPANESE DESIGN, PIONEER OF THE FUTURE LIFESTYLE

総合デザインプロモーション機関の財団法人日本産業デザイン振興会（東京都港区 会長：岡村 正）は、4月16日から20日まで、イタリア・ミラノでデザイン展「JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION」を開催します。

「JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION」は、世界最大級のインテリアとデザインの見本市であるミラノ・サローネ（Salone Internazionale del Mobile）の会期中、日本の主要な産業分野から15社が参加し、国際的に著名な日本人デザイナーである喜多俊之氏のディレクションのもと、ミラノ市内トルトーナ地区のFondamenta Jahierを会場に開かれます。15社の製品やプロトタイプ（試作品）の展示を通じて、ジャパndeザインをミラノから世界へ発信します。当会によるミラノでの展覧会は、2006年にグッドデザイン賞50周年を記念して開かれた「JAPAN DESIGN Good Design Award 50 Years」展に続く2回目となります。

「JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION」に参加するのは、グッドデザイン賞（G マーク）を受賞するなど、デザインに対する積極的な取り組みをしている企業15社です。

いま、世界的に関心が高まっているエコロジー、コミュニケーションといったテーマに対して、日本企業は高い構想力と技術力に裏付けられたデザインで、新しい提案やソリューションの提供に挑んでいます。こうした現代日本のデザインは、発達したテクノロジー・さまざまな要素を積極的に取り入れる文化・モノづくりに対する細やかな気配りといった日本の特性に支えられた「ジャパndeザイン」として、近年ではグローバルに注目されるようになっていきます。

「JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION」では、そのようなジャパndeザインを象徴するジャンルとして、モバイルコミュニケーションツールやパーソナルモビリティをはじめ、ハイテクノロジーを駆使したデジタル・エレクトロニクス製品、家具、住宅設備、日用品などを出展します。これら各社が誇るデザインを一堂にする今回の企画は、日本の力をデザインを通じて世界に示す場となります。

JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION

会場: FONDAMENTA JAHIER

( VIA SOLARI 37-39 CORNER VIA STENDHAL - MILANO )

会期: 4月16日～20日 10時～22時(オープングレセプション: 4月15日 19時)

総合ディレクター: 喜多 俊之

展示デザイン: Matteo Vercelloni

主催: 財団法人日本産業デザイン振興会

JAPAN DESIGN 2008 -INNOVATION ウェブサイト:

<http://www.jidpo.or.jp/activity/milano2008/>

参加企業:

株式会社アスコット(分譲・賃貸マンション等不動産企画)

株式会社イトーキ(オフィス・公共空間等環境開発)

株式会社ウィルコム(PHS通信サービス)

貝印株式会社(刃物、キッチンウェア、ビューティーケア用品)

KDDI株式会社(情報通信事業)

三洋電機株式会社(家電製品)

シヤチハタ株式会社(印章関連製品、文具小物)

TOTO株式会社(バス・トイレ等水回り環境開発)

トヨタ自動車株式会社(自動車)

株式会社ニコン(光学・半導体製造機器)

日本電気株式会社(ネットワーク・エレクトロニクス関連製品)

日本ビクター株式会社(音響・映像関連機器)

株式会社日立製作所(総合電機)

富士通株式会社(通信・情報処理システムと関連デバイス)

株式会社リコー(画像関連機器・ソリューション)

全15社／五十音順

<ご参考>

グッドデザイン賞(Gマーク)

日本の産業と貿易の活性化、生活環境の質的向上を目的に、旧通商産業省が1957年に創設したグッドデザイン商品選定制度を発端とする。以来、半世紀以上にわたり日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨事業として、多分野に及ぶデザインの振興を行なう。 <http://www.g-mark.org>

日本国内プレスからのお問い合わせ先:

財団法人日本産業デザイン振興会 広報(担当: 秋元)

Tel. 03-6743-3777 Fax. 03-6743-3778

E-mail: [press@g-mark.org](mailto:press@g-mark.org)

## (参考資料／参加 15 社の出展概要)

### 株式会社アスコット

[www.ascotcorp.co.jp](http://www.ascotcorp.co.jp)

アスコットが重視していることは、デザイン性の追求だけではなく、心に残る空間やシーンを創出すること。表面的なデザインにとどまらず、創り込む「モノづくり」の感覚を大切にしています。

「人と人の間に豊かな空間を創造する。」をテーマに「遊・職・住」のあらゆる空間の魅せ方を最大限に考慮し、人が集う場をいかに楽しく演出できるか、そして快適に過ごすことのできる空間を提案できるかを常に心がけています。

キーワードとして「品質はココロ質」を挙げ、スタッフそれぞれが「心の質」を高め、豊かな心を持つことで「良質なデザイン」が生み出されると考えています。

### STYIM

デザイナー：株式会社アスコット＋ヨコミゾマコト＋株式会社長谷建築設計事務所

「STYIM」は住戸プラン：1層フラット/1.5層 UP/1.5層スキップ DOWN/2層スキップの全18タイプ、総住戸数：54戸からなる賃貸マンション。平面構成だけではなく、断面構成にもバリエーションを持たせた住戸プランをつくり、多様性のあるプランをそのままファサードに反映させた。柱・梁型を室内に現さない構造形成“薄肉ラーメン構造を採用し、日本古来の伝統工芸技術である「寄木細工」を連想させる構成で、非均質なながらもシンプルなデザインを実現している。

### 株式会社イトーキ

[www.itoki.jp](http://www.itoki.jp)

オフィス空間をはじめ、公共空間、専門空間、そして生活空間まで、人をとりまくさまざまな環境づくりをサポートするイトーキは、人々の課題解決に向けて、感動を与える製品・サービスを開発し、確かなモノを創造していきます。企業の社会的責任として、環境問題・社会貢献に真剣に取り組み、持続可能な社会に向かって全力を尽くし、世界に信頼される企業をめざしています。

人と社会に貢献する高品質な製品をお届けするために、イトーキはヒューマンテクノロジーを追求した製品づくりを行います。それは、「機能を究める技術開発」と「人の“心地”の科学」を融合した、人々の心と身体の両面を満足させる製品の実現です。

数多くの研究、試作、試験による豊富なデータ蓄積をもとに、先進テクノロジーを駆使した高度な製造技術によって、価値の高い製品づくりを可能にしています。新たな魅力を吹き込む質の高いアイデアを、いち早く製品開発に取り入れることで、時代の一步先をいく価値の高い製品開発を実現させていきます。

世界に認められる価値ある企業をめざし、イトーキはグローバルな視点で活動を展開しています。世界最大級の国際オフィス家具見本市「オルガテック」(ドイツ・ケルン)への出展をはじめ、欧米やアジア市場への販売拡大をめざした活動に取り組んでいます。

スピーナ

デザイナー: 有限会社バウデザイン 代表取締役 中村 保弘

従来のオフィスチェアは、“深く座りかつ直立および後傾の姿勢”を前提に設計されていたが、着座姿勢の定点観測の結果、腰をしっかり支え、理想的な姿勢・着座をしている人は3割程度であることがわかった(自社調査による)。その課題を解決するために着座すると座が下がる PSS 機構と、ランバーを前方に押し出す ALS 機構を連動させた世界初の新機構を開発した。背面にはこの動きに対して柔軟に追従する、樹脂とゴムの中間の性能を持つエラストマー樹脂を採用。

面ではなく線で背中に接触することで長時間座っても蒸れる心配がない。縦リブ半透明のデザインは光が透過する連子格子や障子を連想させ、日本の美意識を表現している。

株式会社ウィルコム

<http://www.willcom-inc.com/>

ウィルコムは日本で唯一 PHS サービスを提供する会社です。そして、今、超小型通信モジュール「W-SIM」によって、ワイヤレス通信における新たなステージを開拓しています。

「W-SIM」は、無線通信機能、アンテナ、電話帳などのユーザデータを保存できるメモリを併せ持つ超小型通信モジュールです。「W-SIM」はさまざまな機器に対応できる可能性を持っており、無線通信技術を持たない企業でも W-SIM を活用することで、通信機能を搭載した商品開発が可能になります。この「W-SIM」を使用した商品群を WILLCOM 「SIM STYLE」と呼んでいます。

ウィルコムは「W-SIM」を活用した新しい端末やビジネススタイルを検討、構築していくための非営利団体の「WILLCOM コアモジュールフォーラム」を 2005 年に設立しました。このフォーラムでは、WILLCOM 「SIM STYLE」のさまざまな商品やサービスの開発及び普及を強く推進しています。ウィルコムは、「W-SIM」を活用したオープン戦略で、業種やジャンルの垣根を越えた通信サービスを提供していきます。

WILLCOM SIM STYLE 新しい通信スタイルへようこそ！

デザイナー: 堀田 峰布子

WILLCOM 「SIM STYLE」は、1枚の「W-SIM」を契約、購入するだけで、あとはいろいろなウィルコムのケータイに抜差しして使えるスタイル。

ビジネス用のケータイ、パソコンのデータカード、スポーツ用のケータイ、小さいケータイ、大きいケータイ、丸いケータイ、四角いケータイ、キャラクターのケータイ、大人用のケータイ、子ども用のケータイにも使える。そして、テディベアもケータイに。

「W-SIM」を差し込めば、すぐ通話やメールが楽しめる。ちょっと不思議でちょっと新しいスタイル。

まだまだ進化する WILLCOM 「SIM STYLE」。わたしたちと一緒に、新しいワクワクをつくりましょう。

貝印株式会社

<http://www.kai-group.com/index.html>

2008年、KAIグループは創業100周年を迎えました。KAIグループは1908年6月、800年の歴史を持つ日本最大の刃物の都である岐阜県・関市で、小さなポケットナイフ製造所としてスタートしました。

「より多くの人に、より良い商品を」という企業理念は、創業者遠藤斉治朗より連綿と受け継がれ、この理念に基づいた共通の価値観を、100年近い歴史をかけて、貝印ブランドの中にひとつひとつ築き上げてきました。現在のKAIグループは、キッチン用品、製菓用品、ビューティケア用品といった生活用品に加えて、医療用刃物や業務用刃物など1万点にも及ぶアイテムを世界各地で展開しています。

KAIグループの仕事の根底には「人々の生活に密着した刃物を、優れた職人たちが心を込めてひとつひとつ作っていく」という刃物の都・関の地で育まれた「野鍛冶」の精神が流れています。

企業理念と野鍛冶の精神を忘れず、品質の高い商品やサービスをお届けし、人々による喜んでいただくことが私たちの使命であり、そのよろこびこそが社会の幸せにつながっていくのだと考えています。

新たな百年も、日々の暮らしの中で人々によるこぼれる存在であるために、学び続ける企業でありたいと思います。

KITA's グルーミングキット(仮称)

デザイナー: 喜多 俊之

手先を美しく整えるこのグルーミングキットはユニセックスデザインが特徴。MIM工法で製造され、高い精度とクオリティを具現化している。

(MIM: 粉末金属インジェクションモールディング)

SHUN ソムリエナイフ&シャンパンオープナー

デザイナー: 株式会社 貝印刃物開発センター デザイン室

ベーシックな機能の追求から生まれた美しいフォルムと質感。ソムリエナイフは、ダブルアクションでよりスマートな開栓を。シャンパンオープナーは、ワンタッチで開閉ができ、シャンパンの圧力を手のひらに感じながら開栓できるフォルムを追求した。

Michel BRAS 包丁シリーズ

デザイナー: オリビエ・ドゥズー

深い精神性と独創性に満ちた料理によって、料理界に新しい次元をもたらしたシェフ、ミシェル・ブラス。フランス中南部のオーブラックの高原に立つミシュランの三ツ星レストラン「ミシェル・ブラス」は、世界中の人々の舌と心を魅了している。「Michel BRAS」は、ミシェル・ブラスというアーティストと、刃物メーカー・KAIのクラフツマンシップが生み出したシリーズ。「一切の妥協をせずに、心から納得のいく包丁を創りたい」という彼の願いは、日本の最先端のテクノロジーと熟練した技術者の手作業によって実現。全部で37もの工程を経て創りだされる包丁は、ブラス自身が「宝石のよう」と表現するほどの完成度を誇る。

ミシェル・ブラスが育ったライヨルの町と、KAIが誕生した関市は、共に刃物の産地として知られる。フランスと日本の文化が融合して完成したこのシリーズは、料理を愛するすべての人々にとって最高のパートナーとなる。

繊細で研ぎ澄まされた切れ味と、包丁を握っていることさえ忘れさせる使用感、そして気品

にあふれた美しさを楽しんでほしい。

## KDDI 株式会社

[http://www.au.kddi.com/au\\_design\\_project/](http://www.au.kddi.com/au_design_project/)

二つ折りタイプのケータイが主流になろうとしていた 2000 年頃、「どれも似たようなケータイばかり」「もっと優れたデザインのケータイが欲しい」という声を多く耳にするようになりました。au デザインプロジェクトは、そうした声に応えようと始めた活動に端を発します。

2001 年 5 月、自動車メーカーが魅力的なコンセプトカーを発表するように、コンセプトモデル「info.bar(インフォバー)」、「rotary(ロータリー)」、「wearable(ウェアラブル)」を発表しました。それはケータイをデザインの視点で捉え直し、人々が無意識に思い描いている本当に欲しい魅力的なケータイは何かを探し出そうという試みでした。これらのコンセプトモデルは好評を博し、製品化を望む多くの声に後押しされ、2003 年 10 月、「info.bar」をベースとした製品モデル「INFOBAR」を発売しました。

以降、au デザインプロジェクトは、ケータイデザインのパイオニアとして次々と革新的なコンセプトモデルと製品を世に送り出し、ケータイデザインの流れに大きな影響を与えてまいりました。そしてこれからも、新しいコンセプトやアイデアが盛り込まれた革新的なデザインを通して、人々の日常に新たな感動を生み出す試みを続けてまいります。

## MEDIA SKIN

デザイナー: 吉岡 徳仁

au デザインプロジェクトの 6 番目の製品となる MEDIA SKIN は、2005 年 11 月に発表したコンセプトモデルをベースに開発されたモデルである。幅広い分野で実験的なデザインを展開しているデザイナー吉岡徳仁が手がけたそのデザインの最大の魅力は新しい「触感」。表面処理と特別な塗料により 2 種類の異なる触感を実現。オレンジとホワイトは、ファンデーションに利用されているシリコン粒子を配合した塗料により、さらっとした心地よさに、ブラックは、特殊ウレタン粒子を含んだソフトフィール塗料により、しっとりとした心地よさに仕上がっている。キーボタンを覆うフリップカバーは MEDIA SKIN のシンプルな美しさと心地よい触感に貢献しているだけでなく、開閉動作と連動して着信応答や終話ができる使いやすさを兼ね備える。

## INFOBAR 2

デザイナー: 深澤 直人

au デザインプロジェクト第 7 弾となる INFOBAR 2 は、初代 INFOBAR の「愛されるかたち」を継承しつつ、ワンセグやおサイフケータイ®など最新機能を搭載し、進化をとげた待望のモデル。

新しい INFOBAR は、まるで四角い飴が口の中で溶けて丸みを帯びはじめたかのようなかたちをしている。矩形がオーガニックに変化する途中のかたちは、手に馴染み、ポケットにするっと入る。機械が人間の丸みに近づいていく様は INFOBAR の進化と同期している。滑らかで艶やかな単一表面上に多彩な色の操作キーも表示画面も突起することなく配されている。

INFOBAR は数ある携帯電話の中で一つのスタイルを確立し、バータイプの携帯情報機器として定番となった。それは無理のない操作感と携帯性が故である。

INFOBAR 2、新しい機能がその中にすべてある。それは愛されるかたちを継承している。  
(深澤直人)

三洋電機株式会社

<http://www.sanyo.co.jp/>

三洋電機グループは、ブランドビジョン“Think GAIA”のもと、「環境・エネルギー先進メーカー」として、地球といのちに喜ばれるソリューションをグローバルに提供しています。

エネルーブユニバースは、「使い捨てないライフスタイル」を優しく楽しく、ちょっとわくわくする未来のカたちとしてシリーズ化した商品群であり、クリーンエネルギー社会実現をめざすビジョンを伝えるコミュニケーションツールです。地球環境問題に重要な役割を担う女性や未来を担う子どもたちに、身近に楽しく使ってもらえる商品を通じて「太陽の光でエネルギーを生み出し、繰り返し使うライフスタイル」を伝えます。

エネルーブは単なる充電電池という枠を超え、「環境エネルギー先進メーカー」の顔として、その先に「クリーンエネルギー社会の実現」を指向しています。エネルーブユニバースは、太陽光発電のアイコンとしてソーラー充電器、リチウムイオン充電電池技術を応用した充電式カイロ、充電式アンカ、犬型バッテリーチェッカー(販促品)を開発し、それぞれ「エネルーブ」の世界観を共有する商品群として構成されています。

これからも「エネルーブ」は充電電池一商品の枠を超えた、企業ビジョンを伝える新しいコミュニケーション手法のブランドとして、大きく発展していくことをめざしています。

充電式ニッケル水素電池 エネルーブ

デザイナー:三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター 水田 一久、  
太田 繁宏

三洋電機は 2005 年 7 月からサステナビリティと共生進化をテーマにしたモノ作りのビジョン“Think GAIA”を掲げており、この電池はそのビジョンの下、地球環境への配慮とクリーンエネルギー社会の創造を具現化するため「使い捨てない」をコンセプトに開発された第一弾商品にあたる。

エネルーブは以下のような優れた特性を持つ画期的な電池である。

- ・既存の充電式ニッケル水素電池と比べ自己放電しにくく、1年間放置していてもエネルギー残存率は約 85%を維持するため購入後すぐに使うことができる。
- ・充電すれば約 1000 回くりかえし使用でき、乾電池と比べて経済的で、継ぎ足し充電してもエネルギー蓄積効率が落ちない。

ソーラー充電器セット N-SC1S

デザイナー:株式会社ジイケイ設計 取締役社長 田中 一雄+三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター 所長 清水 正人、課長 小田 慎二、プロジェクトリーダー 担当課長 布垣 明宏、水田 一久

太陽高度に応じて2つの角度が選択できる太陽電池充電器。

窓際に置けば、高効率単結晶 Si 光電池により、内蔵の Li-ion 充電電池に充電でき、そこから単 3、単 4 型充電電池へ急速充電が可能となる。

日照の状況で発電量が変化する太陽電池の特性を考慮しつつ、いつでも家庭で手軽に太陽光発電を楽しめる機器とした。USB2.0 ポートの電力出力も装備し、様々な携帯用電

気機器に使うことができる。

地球環境に配慮しクリーンエネルギー社会実現をめざす製品群である「エネループユニバースプロダクツ」の象徴的な製品として、理想形と機能的構造をピラミッド型フォルムに昇華した。

充電式カイロ KIR-S1S,KIR-S2S

デザイナー:三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター パワーデザイン部 モバイルエナジーデザイン課 能見 拓男、テレコムデザイン部 テレコムデザイン課 久田 風子

製品説明:

世界で年間約14 億枚消費されている“使い捨て”カイロに対し、充電してくり返し使う“使い捨てない”カイロ。

内蔵のリチウムイオン電池を充電して約500回くり返し使える。強弱 2 段階の温度が選べ、PTC ヒーターとマイコン制御による 高精度な温度制御で低温やけど防止に配慮。温度設定や機器の状態を LED の色と点滅で伝える。通常動作時は呼吸をするように柔らかかなリズムで点滅し、手のひらから伝わる暖かさ、やさしい曲面のさわり心地とともに視覚からも心をやわらげてくれる。シンプルでやさしい、永く愛されるデザインをめざした。

充電式ポータブルウォーマー KIR-S4S

デザイナー:三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター パワーデザイン部 モバイルエナジーデザイン課 能見 拓男

製品説明:

内蔵の充電式ニッケル水素電池に充電してくり返し使うポータブルウォーマー。約4時間の充電で8時間連続使用(弱モード)可能。PTC ヒーターとマイコン制御による高精度な温度制御により、低温やけど防止に配慮。完全防水仕様により本体の丸洗いが可能でいつも清潔に使用できる。

充電式にすることで屋内だけでなく AC 電源のない屋外での使用も可能になり、さまざまなユーザーへの対応、使用シーンの拡大を提案したいと考えた。従来の電気あんかに見られる電源コードに引っかかる煩わしさや、コードの折り曲げや引っ張りによる断線等の危険性も低減した。フォルムは肩肘の張らない素直で親しみの持てる造形を心がけた。

USB 出力付充電器セット KBC-E1S

デザイナー:三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター パワーデザイン部 モバイルエナジーデザイン課 能見 拓男

USB 接続による単3形ニッケル水素充電電池エネループ2本の充電と、さまざまな外部機器への出力が可能なポータブル USB 充電器。

新しい充電スタイルを提案することで、より多くの人々にエネループ充電電池を使用してもらい、無理のない環境への意識の向上と貢献へと導きたいと考えた。押し付けではなく、あくまでも自然体のメッセージを発信したいという考えから、フォルムも肩肘の張らない素直で親しみの持てる造形を心がけた。

エネループエアーフレッシュャー CAF-VW10TG

デザイナー:三洋電機株式会社 ブランド本部 アドバンスデザインセンター IID Design Labo. 田中庸介/山内麻紀

電解水除菌システム「virus washer機能」を搭載したポータブル空間清浄器。水の力で空気を洗う独自の電解水技術により、水道水で手軽に、空気中の浮遊菌、ウイルスや花粉などのアレル物質、たばこ、ペット臭などの抑制が可能。内蔵の充電電池で約500回くり返し使え、さらにコンセントでも、車のシガーライターソケットでも使える3電源に対応。車内やデスクトップ、ベッドサイド等の様々なシーンに馴染む穏やかでシンプルなスタイル。車内ではカップホルダーに、室内では充電スタンドにセットしての使用が可能。スイッチを兼ねた天蓋が電源入時に青色にライトアップする、優しさとしづかしさを感じさせるデザインをめざした。

シヤチハタ株式会社

<http://www.shachihata.co.jp/>

シヤチハタは、コア技術であるスタンプやマーキングをベースとし、「記す、伝える、認める」を具現化するコミュニケーションツールとして、さまざまな文具、事務用品を世界中で展開しています。人々の思いを反映した機能や品質を実現するとともに、快適に使うことや、所有する喜びを感じることができる美しいデザインを追求しています。

Design Shachihata

デザイナー：深澤 直人

シヤチハタは去る 2005 年の創立 80 周年を記念して「Design SHACHIHATA」と名付けたプロジェクトを立ち上げ、プロダクトデザイナーの深澤直人氏のもと、主力商品全体のデザインの水準を一定のレベルに高めることで、統一したイメージのプロダクトアイデンティティの確立を進めている。「指で認識するブランド」をキーワードに、手や指の自然な操作の動きをかたちに取り入れつつ、広くさまざまな使用シーンやユーザーの思考に適合するシンプルなデザインを実現しようとするものである。例えば、ネーム印には人差し指を当てる部分にわずかなくぼみを設け、それによって印字の向きも正しく把握できる機能として、それを特徴とするデザインを起こした。印を押す時の感触を使用者が共有することで、その感覚をブランドと製品のアイデンティティにしようとするものである。色やテクスチャーも伝統的な漆の黒と朱を基調とし、新しい機能や技術を搭載した製品も、伝統的な印から継承されてきていることを示している。このプロジェクトから生まれる製品には、シヤチハタの名称の由来である鯨(しやちほこ)と旗をイメージしたロゴを施している。

本プロジェクトのネームペン、朱肉、スタンプ台はすでに製品化され、グッドデザイン賞を受賞している。

シヤチハタ スタンプ台

デザイナー：深澤 直人

ひと目でインキ色がわかるボディーカラーのスタンプ台。つややかな四角いスタンプ台は日本の伝統的なイメージとモダンなステーショナリーのイメージを重ね合わせている。

ネームペン SIGN

デザイナー：深澤 直人

ペンで書くときにはペンのように、印を捺すときには印のように。1本で筆記となつ印がスムーズに行える「ネームペン SIGN」。ペンとしての握りやすさ、印としての捺しやすさを兼ね備えた独自のフォルムは、「ペン」と「印」の2つの機能を等価値にとらえたデザイン。

朱肉

デザイナー: 深澤 直人

従来からある朱肉のケースのイメージを継承しつつ、丸い印と四角い印の両方に使えるという意味を含んだ「しかくまる」の形をアイコンとしてデザイン。ヒンジの飛び出しの違和感をケースの外周に回すことでなくし、上面はわずかに膨らみを持ち、艶やかな光沢の赤と黒のボディー色を引き立てる。

TOTO 株式会社

<http://www.toto.co.jp/>

日本にまだ下水道が整備されていない時代、衛生陶器の普及を通じて「国民一人ひとりの生活文化を向上させたい」そんな思いから、TOTOグループの企業活動はスタートしました。

現在、TOTOでは水まわり商品(トイレ、浴室、キッチン、洗面所)に加え、先端技術の分野でも支持を頂いています。TOTOは日本、そして世界中で「生活価値を創造する企業」として成長することをめざしています。

ネオレスト ハイブリッドシリーズ AH タイプ

デザイナー: 高橋 泰

ネオレスト ハイブリッドシリーズAHタイプは、TOTOの高い技術力で開発された「ハイブリッドエコロジーシステム」を搭載した地球に優しいタンクレストイレ。ウォシュレットも搭載し、快適で清潔なトイレを実現している。

・ハイブリッドエコロジーシステム

便器に内蔵されたタンクの水と水道の水、二つの水流をハイブリッドした世界初の洗浄システム。便器洗浄水量は従来(タンク式トイレ)の13リットルからわずか5.5リットルへ超節水を実現。

・ウォシュレット

おしり洗浄や暖房便座、温風乾燥の機能がついた多機能便座。

トヨタ自動車株式会社

<http://www.toyota.co.jp/>

トヨタ自動車は創業以来、“自動車をとおして豊かな社会づくり”をめざしています。

そして、つねに国際社会から信頼される「良き企業市民」として、21世紀においても人や社会、地球環境との調和を図りつつ、長期安定的に成長していきたいと考えています。

これからも、“トヨタ基本理念”のもと、オープンでフェアな企業活動を実践し、クリーンで安全なクルマづくり、住みよい地球と豊かな社会づくりに努力してまいります。

i-REAL

デザイナー: トヨタ自動車株式会社 東京デザイン研究所

トヨタがこれまで提案してきたパーソナルモビリティPM、i-unit、i-swingに続く進化型。近い将来の実用化への願いを込めて、「REAL」と命名した。

モビリティと最先端のロボット技術を融合させるという日本独自の発想を、そのコンパクトなボディに凝縮したi-REALは、部屋から歩道、さらには車道までといったシームレスな移動をめざした。歩行者エリアではホイールベースを短くし、歩行者と視線の高さを合わせることで人の中に違和感なく溶け込み、車両エリアではホイールベースを長くし、低重心でキビキビとした高い走行性能を発揮する。

デザインは、トヨタデザインの考えの基盤となるj-factorに基づき、人を包みこむ「卵の殻」をモチーフとした、たった数センチという薄いフォルムの中で、硬い外板により乗員がしっかりと守られているという「安心感」とやわらかい内装材にて優しく包まれているという「安らぎ感」という、二つの相反する要素を高い次元で実現させた。

日本人の美意識にも通じるシンプルシティーを感じさせるデザインは、室内ではオブジェとしても遜色ないモダンアートのような存在感があり、屋外では、そのサイドシルエットが象徴するように、乗員の立ち居振舞い、姿勢を優美に見せる。また、人の背中がその人柄を語るように、背面LEDディスプレイにて乗員の感情を豊かに表現し、周囲とのコミュニケーションを可能とし、外板色は漆器のようなしっとりとした上品な艶をもった塗装で仕上げた。

## 株式会社ニコン

<http://www.nikon.co.jp>

ニコンは「信頼と創造」という変わらぬテーマのもと、光の世界を見つめ、たゆみない探求を続けています。画像はあらゆる暮らしのシーンを豊かにすることができ、コミュニケーションを広げることができます。「最高の瞬間を、最高の画質で」記録することができれば、上質な満足感に加え、「わくわく、生き生き」と心躍らせる世界が広がります。人々の求めているものに届くだけでなく、期待以上の価値を提供すること。ゆるぎない信頼を築き、大きな未来を作り出すこと。誠実な心で、豊かな社会の発展のために貢献すること。これがニコンのデザインポリシーであり、ニコンスピリットです。ニコンは、さらなる感動を生み出す企業をめざしています。

### 「最高の瞬間を最高の画質で」

デザイナー：株式会社ニコン 映像カンパニー デザイン部

#### ■歴史の投影と未来の創造・・・レンズ

歴史の投影と未来の創造。レンズはすべてを記録している。すべてはここから始まると考え、既定の概念に捕らわれない自由さで、記録を大胆に表現。歴史の重みと未来に向かう空気感、それらをしっかりと受け止める強靱なカメラ。それらをクールに表現した。凝縮感と力強さ、日本の細やかなモノづくりの文化を体感していただきたい。

#### ■道具としての資質・・・デジタル一眼レフカメラ

人が使う道具という本質に変わりはない。ニコンはつねに道具としての原点を見つめ、「心地よい使いやすさ」を追求している。上質な感触が快適な撮影を実現し、洗練されたデザインが創作意欲をかきたてる。妥協の無い世界観、ニコンのフラッグシップ機である「D3」などのモデルを出展。

#### ■スタイリッシュの真価・・・クールピクス

もっと自分のスタイルで楽しめるエレガントでスタイリッシュな「Sシリーズ」と、未来を予感

させるイメージモック。魅惑のデザインをまとい、確かなクラフトマンシップが息づく COOLPIX。独自の個性が美しさに結晶する、そのスタイルに込められた、上質な世界観を表現する。

日本電気株式会社

<http://www.nec.co.jp/>

「時代のエモーションを伝えるNECケータイ」

便利な道具から「表現」のためのツールへ移り変わる携帯電話。

ケータイデザインというメディアを通してつねに時代の流れや人々の心を捉えたコミュニケーション表現を行ってきたNECのこれまでの軌跡と、新たな取り組みとしてのCMF(カラー・マテリアル・フィニッシュ)改革をご紹介します。

NECのCMFへの革新的な取り組みと変遷を、NTT DoCoMo FOMA N705iμなどの代表的なプロダクトと6つのテーマで紹介。

「デザインとテクノロジーの融合『マテリアル MIX』」

- ・折りたたみ 世界最薄 9.8mm。
- ・ステンレス素材を構造と意匠面に採用し、剛性とデザイン性を両立。
- ・ステンレスボディが放つ素材感。リアル金属の魅力を存分に引き出すパンチング処理面からは、シームレスに浮かび上がるドットイルミネーションが表現力も豊かに時刻や状態を知らせる。

日本ビクター株式会社

<http://www.jvc-victor.co.jp/>

「音楽と映像で新しいコミュニケーションを実現する」

遠く離れた人と人との気持ちを伝えたり、コンサートホールやスタジアムの熱狂と興奮を伝えたり、特別な場所や、特別な日にしか得ることのできなかつた感動を、もっと身近なものにすることで、人々の毎日の生活に彩りを与えること。そのために、ビクター・JVCは高品位技術をネットワークにつなげて人々の心に音楽や映像の感動を伝え、新たな創造の可能性を広げ、新しいコミュニケーションを提案します。

音楽と映像は、ネットワーク環境の高度化に伴い、コンテンツの種類やインフラ、端末の形態などの多様性を活用しながら、さまざまな生活シーンでユーザーのニーズに対応できるようになりました。ビクター・JVCはあらゆる状況でそれぞれに最適で魅力的な環境を提供するために、小型精密メカトロニクス技術、高画質・高音質化技術、高能率符号化技術や高密度記録再生技術など、独自の高品位技術を磨いていきます。

LT-42DS9

デザイナー：日本ビクター株式会社 デザインセンター 吉村 智至

ビクターは長い間ディスプレイ開発において、「あたかもそこにいるような」臨場感を追求してきた。部屋にいながらスタジアムの熱狂を、コンサートホールの心地よい緊張感を、清

清しい滝のしぶきを、鮮烈な深山を彩る緑の空気を、ディスプレイの存在をふと忘れるような「自然さ」で感じていただきたい。

あたかも画面だけがそこに存在するかのような、TV のフレームを感じさせないシンプルさ「Airy Design」が、JVCの提案するスリム LCD のデザインコンセプトである。

画面を引き立てることにこだわり、周りのフレームは細さを追求し、画面との一体感をめざした。操作部は存在感を感じさせないようすべてタッチセンサーボタンを採用し、フラッシュサーフェイスに仕上げ、光沢仕上げによる細いベゼルはテレビの存在を少なくするようにデザインされている。画質、音質面からの臨場感の追求はもちろんのこと、部屋の中でそれ自体が存在感を主張せず、映像だけがあたかも空間に浮かんでいるような佇まいによって、新たな住環境をデザインする。

部屋の中に浮かぶ「もうひとつの窓」は、あなたを「あたかも時空を飛び越えたような」気分にするだろう。

#### AVファニチャープロトタイプ

デザイナー: id plus inc. 井植 洋・ビクターインテリア株式会社

シックで控えめなフォルムと、収納をフローティングさせるような繊細な金属フレームが特徴の AV ファニチャー。

収納上面から伸びるポールに取り付けられたテレビは、単に台の上にテレビを置くというスタイルを超え、収納自体が大きな TV スタンドのような役割を果たす。安定感のあるスタンド(収納そのもの)と、パネルのように薄く軽いテレビは、ライフシーンに合わせて軽やかにテレビの向きを変えることが可能。

金属フレームの中に吊り下げられたような箱の中には AV 機器を収納。扉にはあえて機器の動作を確認する窓を設けず、よりシンプルな佇まいを優先した。AV 収納部のフラップ扉には独立した高感度な赤外線受光部を埋め込み、内部の機器へのリモコン信号を中継し、各機器の電源の ON/OFF 状態などは、デザインが統一されたインジケーターによって間接的に表示。収納上面の芝生のような柔らかな素材は、デザインに遊び心を与えるだけでなく、気軽にデジタル機器などを置ける工夫でもある。その芝生をちょっとかき分ければ、AV 接続端子や携帯電話や MP3 プレーヤーなどのコネクタが現れ、AV メーカーらしい機能とデザインを両立させたファニチャーであることに気が付くだろう。

#### 株式会社日立製作所

<http://www.hitachi.co.jp/>

1910 年の創業以来、日立グループは社会インフラから家庭まで、材料、ロジスティクス、サービスなど、さまざまな分野でビジネスを行っています。

これからも日立は“Inspire the Next”のコーポレートステートメントのもと、イノベーションの提供により、21 世紀を通じて成長し続ける活気ある会社になり、豊かで快適な社会に貢献するよう、いつも新しい息吹を次の世代に吹きこんで行きます。

日立製作所デザイン本部は日立のインハウスのデザイン組織として、50 周年を 2007 年の 12 月に祝いました。クリエイティブなデザインワークを通じて、深く日立の技術力とビジネス力を協調してイノベーションを社会に提供し続けています。

液晶テレビ: 超薄形 WoooUT シリーズ

デザイナー:大木 雅之、山本 俊、守屋 俊行、野末 壮、雨宮 可愛、村井 龍生

- ・モニター最薄部 35mm の液晶テレビ。
- ・モニターとチューナーを分割し、薄型・軽量・レイアウトフリーを実現。
- ・デザインは高品質な香水のボトルをイメージし、画面枠に透過性のある樹脂を用い、厚みに変化をつけて成形し、裏側に高輝度な塗装を施すことで、奥行きのある質感を実現。
- ・樹脂と裏面塗装色を変えた 4 色のカラーバリエーションを展開した。
- ・スタンドもリング形状で薄さ・軽さを表現し、高品質なイメージを与える金属調の仕上げとした。

#### 超短投写距離液晶フロントプロジェクター

デザイナー:大木 雅之、野末 壮、守屋 俊行

ED-A100/CP-A100/CP-A100J は、自由曲面のレンズとミラーを搭載した、超短焦点液晶プロジェクターである。本体からスクリーンの距離がわずか 25cm で 80 インチの TV スクリーンサイズの投射が可能。教室や会議室での設置スペースを大幅に縮小し、人の影が映りこみにくく、眩しい光も目に入らない。外観は授業や会議の集中の妨げにならないようシンプルな造形とし、上面を滑らかなスロープ状にして、スクリーン上部に取り付けた際に圧迫感を感じないようにした。煩雑になりがちなスリット・ヒンジ機構をストライプ状の溝で目立たないようにした。

#### 富士通株式会社

<http://jp.fujitsu.com/>

近年、IT が社会インフラとしてその役割を広く担うことになり、IT 分野のデザインにおいては、美しさ、使いやすさ、わかりやすさなどの高い感性品質に加え、世界の誰もが IT を利用できること、さらに地球環境に配慮したものであること、「人と地球にやさしいデザイン」が求められています。富士通は、人を中心に考える「Human Centered Design」を全てのデザイン活動の基本として、ユーザーの現場を中心に利用シーンを徹底的に考える「Customer Centric Design」、情報・機器・サービス・環境の視点から利用シーンそのものを最適化する「Total Design」、そして世界中のひとりでも多くの人々がより快適に IT を利用できることをめざす「Universal Design」、これら3つの視点をデザインポリシーに持続可能で、豊かな IT 社会の実現をめざしています。今回は、脱石油、脱物質化、森林資源の再生など、「環境」をテーマに筐体に間伐材を使用したノートパソコンのコンセプトデザイン、植物性プラスチックを使用した最新のノートパソコンなど、サステナブルデザインに対する取組みの一編をご紹介します。

#### WoodShell (コンセプトデザイン)

デザイナー:富士通デザイン株式会社

天然素材(杉の間伐材)や植物性プラスチックを採用し、地球の環境や資源を大切にするとともに、製品を単なる道具でなく愛着を持ち長く使っていただくことを考慮した、人と環境に優しいノートパソコン。

#### FMV BIBLO NX-Series

デザイナー:富士通デザイン株式会社

地球環境への負荷が少なく、限りある石油資源の代替材料として植物性プラスチックを使用した最新のノートパソコン。

株式会社リコー

<http://www.ricoh.co.jp/>

リコーは、OA機器の世界的なリーディングカンパニーです。製品のラインアップとして、複写機、マルチファンクションおよびその他のプリンター、ファクシミリ、パーソナルコンピューター、光ディスクを展開し、その関連消耗品およびサービスを提供しています。また、デジタルカメラ、先進の半導体事業も推進しています。さらに現在、ユーザーの業務効率化やコスト削減を実現する包括的なドキュメントソリューションまでを提供する企業として、世界規模でその地位を築いています。

## GR DIGITAL II

デザイナー:奥田 龍生、栗田 正博、諸星 博、高野 麻由

### ■商品のポイント

- ・描写力に優れた GR レンズ(広角 28mm相当)と低ノイズを追及し進化した、「GR ENGINE II」を搭載。プロの要求を満たす高画質を実現。
- ・高画質・高機能でありながら撮影の道具として日常的に携帯できるコンパクトなボディサイズ。
- ・マグネシウムダイキャスト合金による軽量で堅牢な筐体。

### ■デザインポイント

- ・GR DIGITAL(初代)のコンセプト「使いこなす道具」を継承し、シンプルで剛性感のあるフォルムに信頼感と機能美を表現。
- ・コンパクトサイズながらホールディング性の良いラバーグリップと最適なボタン配置でプロの求める操作性を実現。
- ・カメラを構えたままでもスピーディーに設定操作が行えるアップダウンダイヤルとADJレバーを搭載。一瞬のシャッターチャンスを逃さないスーパースナップカメラとしての理想形をめざしている。

## Caplio GX100

デザイナー:奥田 龍生、栗田 正博、諸星 博

### ■商品のポイント

- ・写真表現の可能性を広げる、7枚羽根虹彩絞りを採用した24~72mm相当の光学3倍ズームレンズ。
- ・フィルムカメラ感覚で撮影ができる、視野率100%でチルト機構を備えた着脱式液晶ビューファインダー。
- ・オプションの19mm相当のワイドにより超広角の世界も気軽に楽しむことができる。

### ■デザインポイント

- ・カメラらしいフォルムと精緻なディテールにより道具としての信頼感と機能美を形に表現。
- ・コンパクトサイズながら、カメラをしっかり構えることができるホールディング性の良いグリップ。
- ・多彩な機能を思いどおりに使いこなせる高い操作性をアップダウンダイヤルとADJレバ

ーにより実現。使いこなし甲斐のある操作性により自分のイメージ通りの写真を撮れる。

R8

デザイナー：奥田 龍生、飯田 雅美、鈴木 正人、諸星 博、高野 麻由

■商品のポイント

- ・手になじむコンパクトボディに、28～200mm 相当の 7.1 倍広角・高倍率ズームレンズを搭載。
- ・有効画素数 1000 万画素の 1/2.3 型 CCD を搭載。「Smooth Imaging Engine III」の高性能と相まって、被写体との一瞬の出会いを、細部に至るまでの確に切り取る。
- ・新開発の「ADJ 方向」キーにより構えたままで素早い設定操作が可能。

■デザインポイント

- ・「毎日使いたくなる道具」をコンセプトにした、使うことが楽しく愛着の持てるデザイン。
- ・虚飾を廃したシンプルで機能美を追求したスタイリングに、手になじみ持ちやすいグリップや、操作性の良いモードダイヤル、ボタンなどにより機能がもたらす美しさと使い勝手の良さを実現。
- ・金属感・ソリッド感を強調したトップカバーやメタルスピン加工をした鏡胴先端部と鏡胴リングなどにより愛着の持てる道具としての堅牢感、質感を向上。

Aficio GX3050SFN

デザイナー：矢野 良多、米川 昌弘、鈴木 正人

■商品のポイント

- ・メンテナンスが簡単なインクジェット方式を採用した、店舗や小規模オフィス向けビジネスカラー複合機。
- ・リコー独自のビスカスインクは普通紙でもにじまないの、レーザープリンターと同様に使える。
- ・ビジネスでの使用に耐えられる高耐久性設計。

■デザインポイント

- ・安価で機能が満足できればデザインはいらないと考えられていたビジネス用OA機器でも、デザインが重要であることを提案。
- ・最新の店舗やオフィスにマッチする質感の高いデザインを採用。
- ・ロングライフ商品であるためには「好きなデザイン」も大切な条件であることを訴求。

Aficio SP C222DN

デザイナー：山田 和義、佐々木 智彦

■商品のポイント

- ・コンパクトな本体サイズにより、狭いスペースにも設置ができる、店舗や小規模オフィス向けA4 カラーレーザープリンター。
- ・トナーの交換や用紙補給などが前面から操作可能。
- ・感光体とトナーが一体型になった「オールインワントナーカートリッジ」により、消耗品の点数が少なくなり、管理の負担を軽減。

■デザインポイント

- ・コンパクトで柔らかいフォルムで、人のそばに置いても圧迫感を感じさせないデザイン。
- ・ビジネス用レーザープリンターもさまざまなオフィスのインテリアに調和し、洗練されたデザインが必要であることを提唱する。